

術中迅速細胞診検査				P000004	
				担当部署	
迅速細胞診				病理	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		該当なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示②→病理細胞検査→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		1) 凝固している。			
検査受付時間		8 : 45～17 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。			
検体採取の特別なタイミング		手術中			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	その他材料液 状検体	滅菌済みコニカル管（栄 研化学株式会社）	胸水、腹水、心嚢液の場合は添加剤 としてアングロットが必要	該当なし	該当なし
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1) オーダーラベルがない 2) 容器内の液がない			
保管検体の保存期間		1) スライドガラス ; 半永久 2) 液状検体 ; 当日中 * 保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡			

検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科			
測定時間		20～40 分			
生物学的基準範囲		該当なし			
臨床判断値		該当なし			
基準値				単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		術中迅速細胞診 術中迅速細胞診は通常業務に比べ標本作製やスクリーニング（さらには診断）にかかる時間を極力短くしなければならない。術式に直接影響することもあり、臨床への情動的価値はきわめて大きい。胃癌取り扱い規約には腹腔（洗浄）細胞診についての記載があり、進行度（stage）を決定する因子の 1 つにもなっている。すなわち細胞診で癌細胞が陽性なら、ほかのいかなる因子が陰性であっても stageⅣとなる。 臨床検査法提要改訂第 34 版：1388,2015.			